2.障がい者と環境問題

南　泰代 1*

1 神戸教育短期大学（〒653-0862 神戸市長田区西山町 2）

（〒515-0063 松阪市大黒田町 1826-1）

＊E-mail：yasuyo64@outlook.jp

三重県の社会福祉法人 A 会は 2001 年に認可を受け、2002 年障害者福祉事業、2003 年高齢者福祉事業を開始した。ゴルフ練習場の一部を花園に整備し障がい者の作業の場とし、花園にはスーパーでの食品廃棄物を堆肥にした。花園での作業と空き缶の分別作業が工賃となる。地域の環境問題の解決の一部が障がい者の工賃と生きがいになっていることを報告するものである。

Key Words *：Persons with disabilities, Environment issues, Wage*

１．目的 と背景

A 会の前身は 1970 年津市の B 池周辺の 8 万 3 千㎡を取得して温泉入浴施設完備のゴルフショートコースとゴルフ打席練習場を開設した。しかし、温泉の発掘に多額の借金を被った。

2002 年障害者福祉事業、2003 年高齢者福祉事業を開始した。2 万㎡をショートコース 9 ホールとし、他は作業の場とした。地域のスーパーで出る食品廃棄物を堆肥に利用した。花園やゴルフ練習場で出る空き缶の回収だけでなく地域の空き缶を回収し分別を始めたのである。

２．花園と食品廃棄物

2007 年指導員 5 人が初級園芸福祉士を取得し、ゴルフ場の中に花園を造設した。障がい者と共に畑を耕し、種を植え、苗を作り、肥料を土に混ぜ草取りをし、薬剤をまき 6 万 3 千㎡の花園にしたのである。




写真 1. 2　ゴルフ練習場　花園




写真 3. 4　紫陽花　手入れ




写真 5. 6　草取り




写真 7. 8　藤　手入れ




写真 9. 10　梅




写真 11. 12　藤




写真 13. 14　紫陽花

梅 56 品種 650 本、藤 10 品種 1800 本、紫陽花 3 万 3 千㎡、77 万 7000 株である。30 ㎥、4t トラック 30 杯分のスーパーの食品廃棄物を肥料にし、地域の生ゴミを減らし有効利用しているのである。

３．空き缶回収と分別

就労継続支援 B 型とは、年齢や体力などの面で雇用契約を結んで働くことが困難な人が軽作業ができ、時間も日数も制限や規約がないので体の調子が良い日だけ働けばよい。

施設やゴルフ練習場、三重県嬉野 SA 上下、安濃 SA 上下、H 農林高校の空き缶の回収し、就労継続支援 B 型の外作業の利用者が缶作業場にて分別作業をしている。

缶を見て触っただけで分別が出来る人、印字マークを一つ一つ目で確認して分別する人、区別が難しい人には磁石を使ってする作業になる。




写真 15. 16　アルミ缶　スチール缶

職員が三重県嬉野 SA の上下、安濃 SA の上下、H 農林高校で出る空き缶の回収に週 1～2 回向かう。分別作業の回数は空き缶回収の量により月に 1～3 回で、作業に入れる人数は 6 名までである。分別作業机の前で缶の分別をし、分別籠に入れ、フレコンバッグに入れる。職員がトラックで 5 分程の廃棄物リサイクル会社に納品する。




写真 17. 18　空き缶





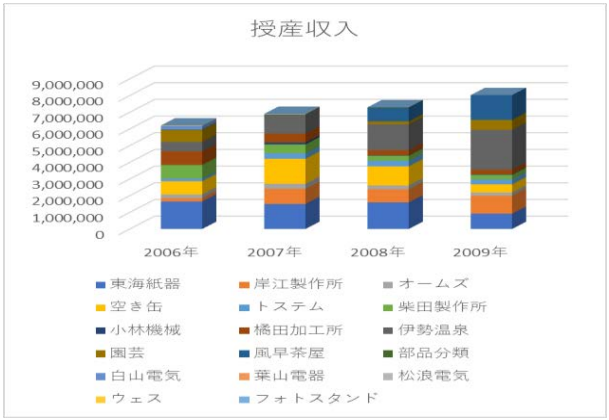
写真 19. 20. 21　作業机　　分別籠　　フレコンバック

４．障がい者の工賃

身体障害者手帳・療育手帳を有する満 18 歳以上、日常生活が自立しており集団生活が可能な 80 人が参加している。20 年以上続けている人もいる。2006 年園芸 71 万、2009 年 17 万である。2006 年空き缶分別 79 万、2007 年 149 万、2008 年 114 万、2009 年 48 万であった。

表-1　図-1　2006～2009 年　授産収入表

	東海紙器	岸江製作所	オームズ	空き缶	トステム	柴田製作所	小林機械	橘田加工所	伊勢温泉
2006年	1,646,277	199,854	223,257	790,113	161,900	814,525	3,000	814,525	563,400
2007年	1,500,979	910,547	299,688	1,495,236	321,956	538,956	110,228	538,587	1,123,875
2008年	1,594,546	788,055	231,688	1,140,949	330,045	309,360	22,000	309,360	1,544,850
2009年	919,125	1,068,881	199,688	485,851	287,088	285,147	28,562	285,147	2,388,150
2006年	園芸	風早茶屋	部品分類	白山電気	葉山電器	松浪電気	ウェス	フォトスタ	合計
2007年	710934	0	27,109	213,885	12,497	0	14,300	9,700	5,390,751
2008年	0	0	29,718	0	0	30,936	0	200	6,478,981
2009年	178485	805,696	36,902	0	0	0	0	0	7,128,898
	594900	1,479,760	3,689	0	0	0	0	0	7,852,298



５．花園と空き缶回収の分別の工賃

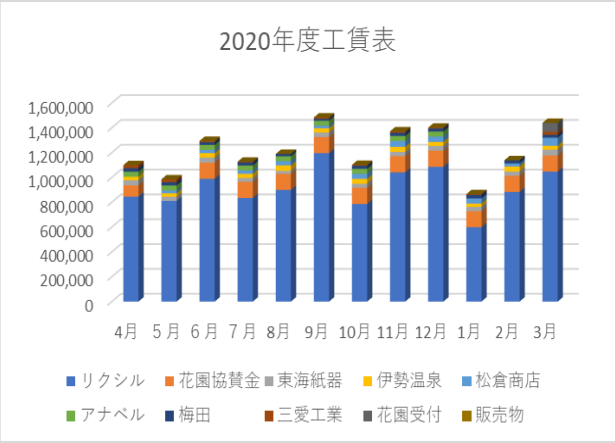
2020 年度工賃総年間収益は 1400 万である。花園協賛金 139 万、アナベル 36 万、花園作業 178 万、空き缶回収 39 万である。コロナ禍による社会の自粛により 2020 年は 39 万と少ない。

リクシル（ガラス戸や網戸用の段ボール箱の組立）
花園協賛金（花園の作業）

東海紙器（段ボール箱の組立）
伊勢温泉（ゴルフ練習場ボール拾い）
松倉商店（空き缶分別）
アナベル（香水）
梅田（ダンボール作業ごみ収益）
三菱工業（機械部品）
花園受付
販売物（雑貨・梅販売）

表-2. 図-2　2020 年　工賃表

2020年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
リクシル	845,709	810,547	988,794	834,937	899,271	1,195,235	786,308	1,040,705	1,085,274	598,223	882,836	1,047,020	11,014,859
花園協賛金	90,909	0	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	1,390,909
東海紙器	40,873	33,895	41,673	30,305	23,273	36,359	32,900	34,932	38,459	34,250	33,723	46,449	427,091
伊勢温泉	28,227	27,614	35,591	33,750	44,182	34,773	39,477	40,705	32,114	26,182	41,523	31,705	415,843
松倉商店	0	22,800	25,590	27,210	33,420	20,000	40,600	47,126	43,320	41,550	25,000	64,960	391,576
アナベル	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	40,000	0	0	0	360,000
梅田	29,045	25,555	21,482	24,918	18,618	15,827	24,418	26,136	24,991	29,182	24,864	22,191	287,227
三愛工業	23,869	23,869	7,852	5,382	0	10,357	6,738	11,552	6,535	5,462	0	25,513	127,129
花園受付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71,000	71,000
販売物	0	0	2,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,800
工賃計	1,098,632	984,280	1,293,782	1,126,502	1,188,764	1,482,551	1,100,441	1,371,156	1,400,693	864,849	1,137,946	1,438,838	14,488,434



スチール缶は、原料に鉄や鉄を含む合金を用いて作られた缶を指し強度に優れ熱伝導性も高い。スチールは最も普及している金属材料である。スチールは重いので輸送コストが上がる。安く作れるので回収単価が安い。

2022 年 6 月アルミ価格が上昇したため少しずつ売上も上昇した。アルミ缶は原材料のアルミニウムは軽量で熱伝導率が高く空気中では酸化皮膜を作り錆にくいため製造者にも消費者にもメリットがある。使用後のアルミ缶は軽量であり容易に押し潰せる。アルミ缶は値上がりをして、1000kg で現在 55 万になったので回収が多いと工賃も増える。冬や梅雨の時期は毎週 1 回の回収、年末、五月の連休、お盆は毎週 2 回回収のため、分別作業も週 2 回となる。月 15 万、年間 150 万になった。

６．まとめ

2020 年度推計値では、食品ロス量は年間 522 万ｔである。日本人 1 人当たりの食品ロス量は 1 年で約 41kg にあたる。日本人 1 人が毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てているのと同じである。522 万ｔの内訳は、事業系食品ロス 275 万ｔ、家庭系食品ロス 247 万ｔに及ぶ。事業系食品ロスは 4 業種に分類でき、食品製造業 121 万ｔ、食品卸売業 13 万ｔ、食品小売業 60 万ｔ、外食産業 81 万ｔになる。今回のスーパーでの食品廃棄物を堆肥にしていることは大きな取り組みと言える。花園での作業が工賃になっているという二重の効果である。

地域に捨てられる空き缶の回収の分別も工賃になっている。工賃は月 1～5 万と相違があるが自分で稼いだ工賃が手元に入るのである。そのことは楽しみや生きがいになっている。

障がい者が地域の環境問題の一部の解決に深く関わっていることを報告するものである。